

(第三種郵便物認可)

識者による第三者委員会に報告した。

要な用地を取得した上、備事業、京都など六府二一を的確につかみ、ない」などの不満の声をかき、農水省からの補助金、県で進めている農用地整理、利便性向上に取り組み、出ていると指摘。事故な

具体的には、鉄道事故、間でトラックや船舶を使用などを提案。JR貨物はう代行輸送や、荷主も参こつた対策をアクシヨ

中国新聞

間に圧縮し、貯金の財源を生み出すには「さるなる合理化、効率化が必要」と区財政課の牧島精一課長は話す。

# 首都圏

## リポート

東京都杉並区は、予算の一割程度を積み立て、運用益で住民税(区民税)を減額する「減税自治体構想」を打ち出し、その実現のため、学識経験者による研究会を七月に発足させる。区の試算では七十八年後に住民税をゼロにすることが可能という。全国で初めての構想は、予算の九割の金額で行政の仕事をまかなう効率的な運営を定着させることに狙いがある。

(山中和久)

「行革の断行で財政健全化にめどが付いた今、気を緩めることなく将来を見通した財政運営のルールを定めることが重要だ。過去を振り返れば、放漫な自治体

### 杉並区の減税自治体構想

経営の芽は歳入が増え始めたり、財源を他に依存する体質になったりしたときに生まれる。税収の増減で右往左往しないために「区政百年の大計」とも言うべき減税自治体構想の検討に着手する」

区議会の定例会初日の十四日。山田宏区長は所信表明で、三選を果たした四月の区長選で公約に掲げた構想にかける思いを語った。

#### 松下・福沢が提言

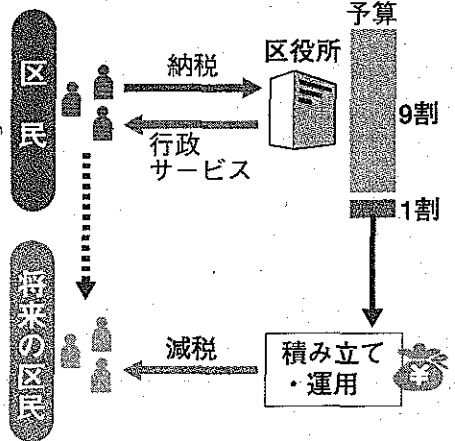
構想の基になったのは、松下電器産業の創業者、松下幸之助の唱えた「無税国

#### 予算の1割を積み立て運用

家構想」。山田区長は松下氏が創設した松下政経塾の出身だ。明治時代には福沢諭吉も同様の提言をしてい

所信表明を受けた代表質問、一般質問では、区議から「夢のある構想だが、本当に実現できるのか」「税

#### 杉並区の減税自治体構想のイメージ



の基本である負担とサービスの関係はどう考えればいいのか」などの質問が相次いだ。

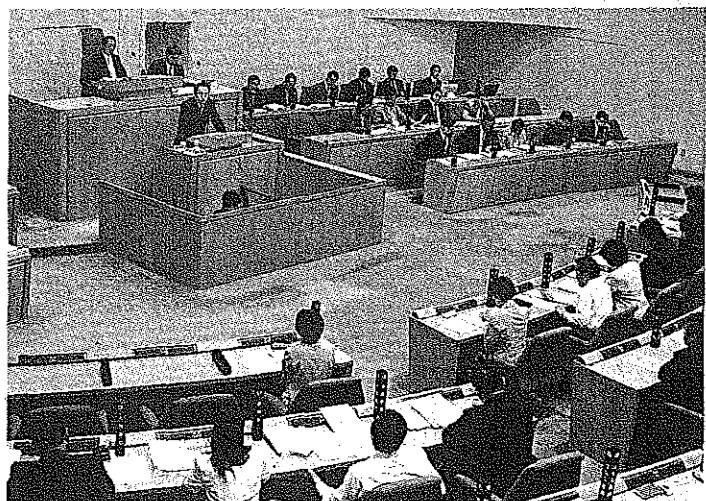
山田区長は「受益と負担の関係を現在だけでなく比

# 78年後「住民税ゼロ」

較的長い時間軸でとらえ、将来の減税のために現在の税の一部を蓄えることは、税の前払いと考えるべきだ」と強調。「減税という

目標に向かって歩むことで、杉並に住んでみようという人が増え、税収も良くなる。減税が実現すれば、低負担

同程度の状況が続くと想定し、予算の一割に当たる約百五十億円を毎年度貯金とす。そのためには予算の九割を貯蓄する、七十八年



区議会定例会の初日、所信表明で減税自治体構想について説明する山田区長 (14日)

自治体が独自に住民税を減税したケースは「聞いたことがない」と総務省自治税務局。現行の制度では独自に税率を引き下げた場合、借金をすることが国から制限され、都からの財政交付金も減らされる可能性もある。2%の利回りをどう確保するかも含め、いくつもの壁が立ちはだかる。

研究会ではこうした課題に加え、積み立ての割合、金利収入の使い道などを一年かけて検討。制度改革が必要なのは国や都に申し入れる考えで、〇九年度の条例化をめざす。山田区長は「研究会の成果を踏まえ、区議会、区民の意見を聞きながら理念を共有したい」と話している。

#### 立ちはだかる壁

本年度末見込みで三百九十七億円の借金の残高を

「首都圏リポート」は毎月最終水曜日に掲載します。

杉並区の山田区長は6日の記者会見で、毎年、予算の一定割合を積み立て、運用益で区民の税金を減らすという「減税構想」を発表した。現行の住民税率で試算すると、33年積み立てれば、25%を減らすことができるといふ。7月に有識者による研究会を設置し、2009年度の条例化を目指す。総務省財務調査課は「予算を積み立てて減税する」という例は聞いたことがない」といふ。

### 杉並区新構想

区は今年度の一般会計当座初予算は約1500億円。構想ではこの1割150億円ほどを積み立てて充てる。区の試算では、仮に金利を年々2%とすると、33年後、膨らんだ元本が生み出す金利収入により、住民税の4分の1を減税できる。53年後はたまたまの1、78年後は無税になる。

### 78年後 住民税ゼロ試算

山田区長は構想について「故・松下幸之助氏の無税国家構想」に基づいているとし、「新しい発想ではないが、誰も着手をしていないので、まず、杉並で実現させたい。収入を使い切り、収入が減ると予算を削るといふ、行政の悪い流れを断ち切りたい」と話した。

# 予算1割積み立て減税

## 区民税

# 予算積み立て減税

東京

## 杉並区 専門家ら研究会設置へ

杉並区は6日、予算の一定額を積み立て、その利子を使って区民税を軽減する「減税自治体構想」の研究に着手すると発表した。専門家らによる研究会の七月中の設置を目指す。関係費は二百万円を含む補正予算案を六月定例会に提出する。構想を区長選で公約している。

### 78年後には区民税ゼロ

区民税が53年後に半減、78年後は無税になる。東京都杉並区の山田区長は6日、予算の1割を毎年積み立て、その利子で住民税を減税していく。将来的には無税にする「減税自治体構想」の実現に乗り出す方針を明らかにした。

東京

日経

日経

## 杉並区、構想実現へ研究会

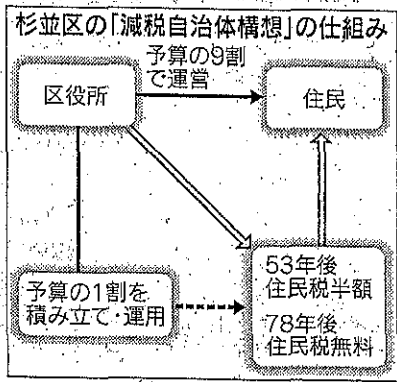
「将来は住民税をゼロにする」と。東京都杉並区山田区長は6日の記者会見で、「減税自治体構想」実現に向けた研究会を七月に発足させると発表した。

## 住民税、将来はゼロ?

「国家構想」。松下幸之助氏が提唱した政治経済出身の山田区長が特別区版にアレンジした。「自治体は予算に余裕があるときは使いきり、なにかと極端に削ってしまふ」。景気に左右されない自治体運営を目指す構想だ。

### 78年後には無税化可能

杉並区は二〇〇七年度当初予算の一般会計は千五百億円で、そのうち、一割の百五十億円を積み立てて、複利で運用すると、三十二年、七十八年後にはほぼ同額となる。七十八年後にはほぼ同額となるため無税化できるといふ。直度を示す経常収支比率は七八%で、他の自治体に比べて



## 「住民税78年後はゼロ」

東京都杉並区山田区長は6日、区予算の1割を毎年積み立て、その利子で住民税を減税し、将来的には無税にする「減税自治体構想」に取り組み意向を明らかにした。全国でも初めての構想で、試算では積み立てを始めてから78年後には住民税が無税になるといふ。区は7月に学識経験者による研究会を設置、

### 杉並区が構想

具体案を協議する。区によると、同構想では区政を全予算の9割で運営し、1割を積み立てて回す。仮に区債の償還などに充てても足りなくなる。区民の意見率を2%に設定し、利子全額を減税に充てると、33年後には住民税が4分の3に、53年後には2分の1、区今年度予算は約1500億円。区債はまた約400億円残っているが、山田区長は償還を早期に終え、早急な方針だ。

## 予算1割積み立て 利子分で減税

杉並区は6日、約12億3500万円の07年度補正予算案を発表した。毎年、予算の一定額を積み立て、その利子で住民税を減税する「減税自治体構想」の研究を推進する。研究会は学識経験者などで構成、7月から約1年かけて構想を研究する。山田区長は「入った

朝日  
区長記者会見  
19.6.6(水) 12:30  
神正子(博)

## 妊婦健診の助成 拡大

東京都杉並区は妊婦健診の助成をこれまでの二回から最大で十四回に拡大する。健診を受けやすくて妊婦中にかかりやすい病気の予防や母子と

東京

東京